

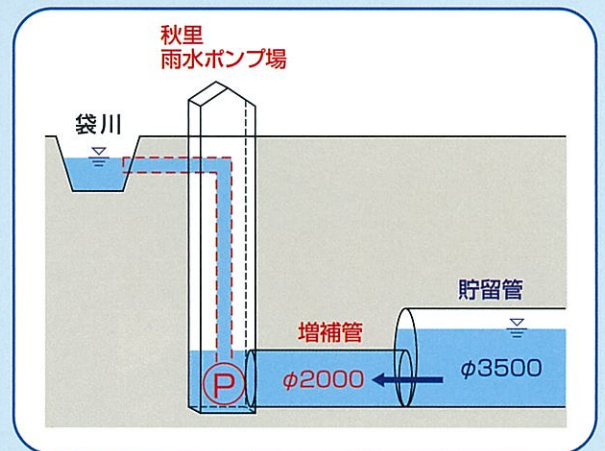
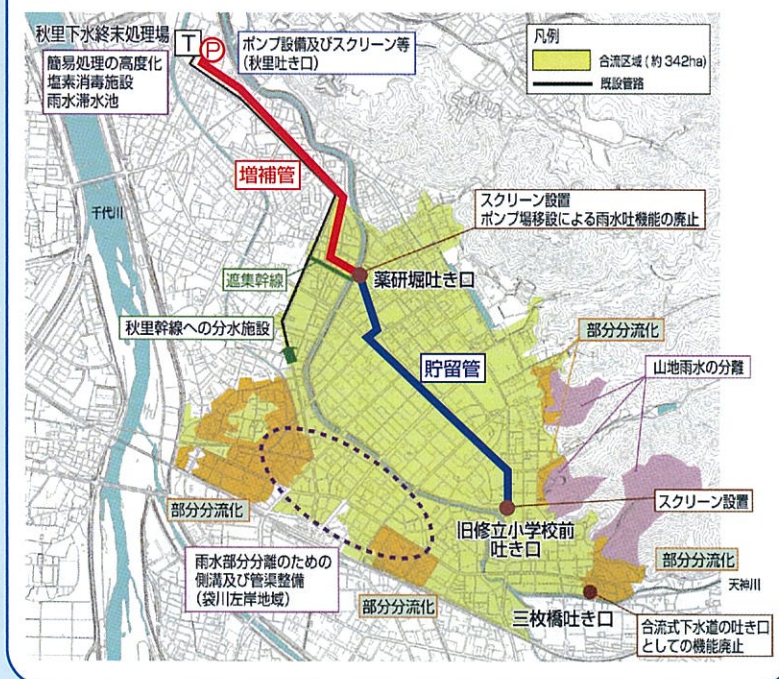
事業概要

旧市街地の下水道は、古くより雨水と汚水を一つの管を利用して排除する合流式下水道で整備されており、合流式下水道では全国的に次のような問題点をかかえています。

- ① 雨天時において、未処理の汚水が雨水とともに近隣河川に放流されるため、水質悪化の原因となる。
- ② 都市化の進展により流出係数が増し、集中豪雨の増加により、既存の管渠能力が不足しており、浸水が発生する可能性が増大している。

このように環境改善、浸水対策を目的として、平成25年度までに下図のような対策の実施を計画しており、合流式下水道改善計画の一環として、今回、秋里増補幹線築造工事を実施するものです。増補管は、片原貯留管の下流側に接続し、今後設置する秋里雨水ポンプ場まで安全に合流雨水を流下させるための接続管渠です。旧市内の合流改善はもとより浸水対策にも寄与する施設です。

合流式下水道改善計画図



工事概要

工事名	都市計画事業(合流改善)秋里増補幹線築造工事	
工事期間	平成21年10月27日～平成23年7月29日	
工事場所	鳥取市松並町三丁目～玄好町	
増補管	仕上内径	φ2,000mm
	延長	1,778m(立坑中心間)
	勾配	1.0‰(上り)
	工法	泥土圧式シールド工法(シールド機外径φ2,490mm)
	セグメント	二次覆工省略型コンクリート製セグメント、二次覆工一体型鋼製セグメント
立坑	曲線	15R×2箇所, 40R×1箇所, 100R×1箇所 200R×2箇所, 300R×2箇所, 400R×1箇所
	発進立坑	ECO-MW工法 9.5m×5.5m×13.6m
保守点検用管理人孔	3箇所	
仮設備・付帯工	各1式	
ゲート設置	1式	